真庭市営単独住宅入居申込書

年 月 日

真庭市長 様

申込者

次のとおり市営単独住宅の入居の申込みをします。なお、本書記載内容が事実と相違するとき、又は入居申込者(その同居者を含む。)が暴力団員であることが判明したときは、 入居に係る一切の権利を放棄します。また、入居に係る資格について、市が関係機関に照 会を行うことに同意します。

希望住宅 住宅							宅	部]屋	番号							号		
	現	郵便看	番号									電	話 番	号号					
#	住																		
申	所	住宅		名義人氏名															
込	フリ	ガナ									男・女		生年月日		年		年	: 月	日
	氏	名			1														
者	勤	務 先	名	称								所		属	1		課	:	係
	又業	は営所	所	在 地															
		721	電話	舌番号							勤	務	又に	営	業	年数	汝	年	月
入	続	柄	氏		名	生年	三月	日	職	業	寡	婦•	特障 ひと)有無	り		入 <i>组</i> 額 (平収)		※ 所得額	金
居し	申记人	者本																	
ようとす																			
る																			
者																			

照	合	Ĵ	政令の収入る	言合	注							※ 円			
		続	†	丙	氏		名	生	年丿	月日			備	考	
	ンないが 说法(昭														
和40年	三法律第														
	上扶養る親族														
	一〇本紀八大														
現在の	住居に居	住し	ている期間]	年	_月	人員	Ĺ		人		•			
現住	居	別	自宅・借の別	· 家	部屋	数	畳 蕦	数	水	道	便	所	物	置	
O (2) 一般住年) アパー Ì		(1)自 (2)親族の						(1)あ (2)共	同	(1)ある (2)共同]		共同	
200	(名称))そ の ft		(3)借	家					(戸 (3)な		(戸) (3)ない			戸) ない	
借 家 _{の場合} 家主の アパート 氏名_				ŕ						家	〔	盾		円	
	. (/) #早	;合	氏名			j	電話		(7	水道	・電気代		金	円)	
アパー市申	か場				年度	أ	電話 年度		年度						
アパー	真庭	市	氏名			İ					• 電気代	<u>別</u> 迫		 円)	
アパー市申営込	真庭他市町	市村の	氏名 <u></u> 営 住 宅			į					• 電気代	<u>別</u> 迫			
アパー市単、営・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区・区	真 庭 他 同 山 住保住立家遠 (7) は (7) に (7) に は (7) には (7	市 村 県 宅安宅宅退賃	氏名営公営なたないまでである。さ会会なたないまである。ななななななたななな <td>住生族で困て</td> <td>年度 ん上別るているいる。</td> <td>。状で完全</td> <td>年度 態の住宅 る。他の</td> <td>の世</td> <td>年 月 注 ん で 帯 と 同</td> <td>ぎしいる。</td> <td>年度 年度</td> <td>別追言</td> <td>†</td> <td>四 回 回</td>	住生族で困て	年度 ん上別るているいる。	。状で完全	年度 態の住宅 る。他の	の世	年 月 注 ん で 帯 と 同	ぎしいる。	年度 年度	別追言	†	四 回 回	

婚 申 住 所 請 氏 名 印 約 氏 名 者 生年月日 年 月 日 者 生年月日 年 月 証 上記の両名は、年 月 日に挙式予定であることを証明し年 月 日(双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 明 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所 書 氏 名 印 氏 名													
婚 任 所 請 氏 名 額 新 表 生年月日 年 月 日に挙式予定であることを証明し年 年 月 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所													
婚 任 所 請 氏 名 額 新 表 生年月日 年 月 日に挙式予定であることを証明し年 年 月 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所													
婚 任 所 請 氏 名 額 新 表 生年月日 年 月 日に挙式予定であることを証明し年 年 月 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所													
婚 任 所 請 氏 名 額 新 表 生年月日 年 月 日に挙式予定であることを証明し年 年 月 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所													
婚 任 所 請 氏 名 額 新 表 生年月日 年 月 日に挙式予定であることを証明し年 年 月 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住 所 住 所													
約 者 生年月日 年 月 日 日 日 年 月 月 日 日 日 年 月 日 <td< td=""><td></td></td<>													
者 生年月日 年月日 月日 者 生年月日 年月日 正 上記の両名は、 年月日 日に挙式予定であることを証明し年月日 年月日 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住所 住所	(FI)												
世 明 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住所 生所	目												
明 (双方の親又は媒酌人のうち2人の住所・氏名) 住所 住所	, ,												
住所住所]												
建													
	F												
(1) 現住所は住民票のとおり、電話番号は呼出し、内線番号についても記入記 (2) ##27# いてかかりにある はいごりのこと	のこと。												
(2) 勤務先は正確な名称をはっきり記入のこと。 (2) 3 R オス世世界の特特 近々 年月日は休日 東のしなり 歴史は は けいて記る													
(3) 入居する世帯員の続柄、氏名、年月日は住民票のとおり、職業は具体的 入 のこと。	J(C記入												
(4) 収入金額(年収)は、収入がある者全員について、給料、賃金、歳費、年金、恩													
上 給、賞与及びこれらの性質を有する給与のすべてを各々の会社、官庁で記	E明して												
もらい、その合計額を記入のこと。事業所得は、市町村で証明してもらう	こと。												
の ただし、1年に満たないものは、発生後分のみでよい。 (5) 現住居の状況は、該当欄を○で囲むこと。													
注 (6) 住居に困っている事情は、該当欄を○で囲み、事情を具体的に記入のこ	٤,												
(7) 現住居の平面図、付近見取図は、明確に記入し、付近見取図に現住居を	-												
意り図示すること。													
(8) ※印は、記入しないこと。													